

# 議会運営を検証しました



筑西市議会基本条例は、市民に開かれた議会運営を図るために、平成25年から全議員による議会改革特別委員会で協議を重ね、平成27年4月から施行されました。条例では、「議会は二元代表制の一翼を担い、市の意思決定を行う議事機関として、市民の意思を市政に反映させるため、公正かつ公平な議論を尽くし、真の地方自治の実現を目指す」ことを基本理念に掲げ、「議会が市民の負託に応え、もつて市政の発展及び市民の福祉向上に資する」ことを目的としております。

筑西市議会ではこれまでの議会運営について検証を行いましたので、その結果を報告いたします。

## ■検証結果の概要

検証の方法は、原則、条文ごとに「取組内容」、「問題点」、「改善策」について検討を行い、「評価」は、A、B、C、Dの4段階としました。

### (1) 評価の結果集計 (全35項目)

- A 概ねできている (達成率8割以上) ··· 21項目
- B ある程度できている (達成率5割程度) ··· 5項目
- C あまりできていない (達成率3割以下) ··· 3項目
- D 全くできていない (取組なし) ··· 該当無し

評価対象外、検証対象外··· 6項目 (目的、基本理念など)

(※条文ごとの検証結果詳細は、筑西市議会ホームページに掲載しております。)

### (2) 評価の高かった取り組み (抜粋)

趣旨	条項	取組内容	評価
説明責任	第3条	本会議や委員会審議の公開に努め、常任委員会は1日1委員会の開催として傍聴環境の改善を図った。本会議はケーブルテレビ中継・インターネット録画配信を実施。議会だよりには各議員の賛否を掲載。議会報告会を開催。	A
請願等の提出者の議会参加	第10条	請願等提出者から常任委員会時の発言申し出があった際、条例、申し合わせ事項に従い意見等を聞く機会を設けた。	A
議長及び副議長の選出	第17条	正副議長選挙において、本会議中に、正副議長の職を希望する議員の決意表明の場を設けた。 平成27年第1回臨時会、平成29年第2回定例会で実施。	A
政務活動費	第24条	条例、規則、使途基準（運用指針）に従い、議員各自、適正に政務活動費を活用している。平成29年度分から議会ホームページに収支報告書や領収書を公開。	A

### (3) 今後の課題とした取り組み (抜粋)

趣旨	条項	①取組内容 ②問題点 ③改善策	評価
危機管理	第7条	①取組内容…危機管理体制の整備には至らなかったが、平成27年9月関東東北豪雨では、定例会日程を変更、最終日に鬼怒川護岸工事対策の緊急質問を日程に追加するなど対応した。 ②問題点…災害時の議会としての行動計画に取り組めていない。 ③改善策…災害時の行動計画の研究と策定に取り組む。	B
議会報告会	第12条	①取組内容…これまでに6回開催 平成28年度 1回（1団体） 計28名参加 平成29年度 1回（2団体） 計37名参加 平成30年度 4回（4地区） 計67名参加 ②問題点…開催の周知が不十分、説明が分かりにくいとの意見があった。 ③改善策…開催周知の方法を検討する。また、簡潔で分かりやすい説明に努める。	B

趣 旨	条 項	①取組内容 ②問題点 ③改善策	評価
政 策 提 言	第 16 条	①取組内容…常任委員会協議会は開催しているが、これを活用した調査、検討に基づく政策提言を行っていない。 ②問題点…各委員会で調査検討するテーマを決めていない。 ③改善策…各委員会がテーマを設定。調査検討を進め、議会報告会での発表や市民との意見交換を実施。市への政策提言へつなげる。	C
議 員 間 討 議	第 19 条	①取組内容…これまでの委員会でも議員間討議に等しい議論が行われることもあったが、討議としての取り組みが不明確だった。 ②問題点…議員間討議の進め方について手順が確立されていない。本会議での議員間討議の進め方についても検討が必要。 ③改善策…委員会ならびに本会議における議員間討議の進め方について調査研究し、手順を確立する。	C

### ～検証を終えて～

このたびの検証作業は、議会基本条例の認識を深め、これまでの議会運営の課題を把握するために、とても有意義なものでした。

また、二元代表制の一翼を担う議会として、行政監視機能に加え、政策立案機能の強化に取り組むことの重要性について具体的な協議ができたことは、今後につながる大きな前進でありました。

議会基本条例は議会における最高規範であり、さらに市民の負託に応えられる議会となるよう、今回の検証で得た課題は全議員が共有し、今後の議会改革に生かしてまいります。

筑西市議会



会議録センターにて

議会だよりは、議会や議員の活動状況などを正確に住民に伝えるという非常に重要な役割を持っており、住民にいかに議会だよりを手に取つてもらえ、読んでもらえるかが重要である。そのためには、インパクトのある紙面を作り住民に興味を持つてもらうことが第一である。限られたページ数にすべてを載せることは出来ないが、記事に優先順位をつけ取捨選択をするこ

・議会の広報活動  
テーマ  
（埼玉県鴻巣市）

【広報委員会】  
研修日 10月25日  
視察地 株式会社会議録センター  
（埼玉県鴻巣市）

と、見出しで読者を引き込むこと、中学生でも理解ができるよう簡潔に分かりやすくコンパクトに内容を伝える紙面が読みやすいとのことです。サンプルとして、筑西市議会だよりを作つて頂いたが、手に取つて見てみたくなるような表紙で、紙面も余白が生かされとても見やすいものであつた。文字は筑西市議会だよりでは明朝体を使つているが、ゴシック体を使用してい

た。本議会においても、読者に会の内容を分かりやすく伝えることをを目指しているが、文字量が多いのが悩みである。本議会においても、読者に写真、イラスト、余白を多用し、紙面のメリハリをつけ、より読みやすい紙面になるよう努めたい。



会議録センターにて